

【図書紹介】

深草正博『ラジオで語った 日本の社会と文化』

(良書出版社 2019年10月1日発行)

ISBN: 978-4-9909224-1-2



本書は、深草正博氏（皇學館大学）が、FM 三重で毎週月曜夕方に放送された「フォーカス・オン・ジャパン」という番組で語ってきた内容をまとめたものである。2018年4月から1年間52回の放送を2部構成でまとめている。目次を示すと以下のとおりである。

第1部

1. 自己紹介 2. サクラについて 3. 黄砂と酸性雨 4. 地方について考える 5. 五月五日 6. 茶と健康 7. 「犬公方」と歴史の見方 8. 日本の元号と世界の暦 9. 五月三十日・ごみゼロに向けて 10. 虫歯予防の日に 11. 中国留学生の見た日本 12. 入梅とつゆ入り 13. 森と文明 14. アメリカの独立とコーヒー 15. 「七夕」をなぜ「タナバタ」と読めるのか 16. 「フランス革命記念日」について 17. なぜ土用にウナギを食べるのか 18. July と August 19. 原爆について考える 20. 甲子園と後樂園 21. ワインの歴史ーワインの日になんでー 22. Septemberー九月の由来ー 23. 「重陽の節句」とは 24. 月と暦 25. 地震と歴史 26. 曜日の由来 27. 読書の秋 28. 十日夜の亥の子 29. コロンブスのアメリカ大陸「発見」について 30. ノーベル賞の発想ー本庶佑さんノーベル賞受賞にことよせてー 31. 病気と世界史ー風疹の流行を前にしてー 32. 二十四節気と七十二候 33. 七五三について 34. リンカーンの「ゲティスバーグ演説」 35. 勤労感謝の日を考える 36. 明治維新を考えるー文明開化の評価ー 37. 「世界人権宣言」を考えるー七十周年を記念としてー 38. 外国人技能実習生死亡の背景ー日本人の深層心理にせまるー 39. クリスマスについて

第2部

40. 除夜の鐘とは 41. 正月を考える 42. 成人の日と小正月 43. 三重県についてー県民性の研究からー 44. 四百四十年前にヨーロッパ人が見た日本ーヴァリニアーニとフロイス 45. 節分と恵方巻 46. 「建国記念の日」について 47. 「ヴァレンタインデー」と「涅槃会」について 48. 二月という月について 49. 「ひな祭り」とは 50. 過去二千年の三大危機 51. 春分・秋分と彼岸 52. 歴史の見方・考え方

目次をすべて紹介したのには理由がある。見てわかるように、時事的な話題や季節の話題を歴史と結びつけて語られたことがわかるからである。放送では、深草氏が研究の基盤とする「世界史」と「文化人類学」をもとにして、「文化相対主義」の立場から語られていた。「文化相対主義」は文化に優劣を付けない点で、明治以降の日本人の心性に強く影響した福沢諭吉の「文明論」と逆の視点である。現代日本社会の文化的背景を「文化相対主義」の視点から解き明かした氏の語りは、三重県内8~9万人のリスナーに毎週届けられた。本書は各放送をそれぞれ約4ページでまとめている、大変読みやすい。学校教師の場合、朝の会や授業の冒頭などの話題に活かすと、児童・生徒の興味と思考を喚起することだろう。一読されることを強くお勧めする。

(土屋武志)